# 令和6年3月発行 回送地下野市教育委員会 下野市教育委員会 下野市教育委員会 下野市教育委員会 下野市教育委員会 下野市教育委員会 「下野市食育だより」は、けやきネットにも掲載しています。

下野市では、「下野市食育・地産地消推進計画」の下、市内学校と健康 増進課、農政課、教育総務課、学校教育課が連携しながら、様々な取組を 実施しています。

「下野市食育だより29号」では、学校給食における地場産物活用の取組と各学校における食育の取組を紹介します。



なぜ、学校給食 に地場産物を活用

しているのですか?



# 学校給食への

地場産物

# の活用

下野市では、毎月19日前後に設定する「しもつけいっぱいday」を中心に、県産・下野市産の食材を献立に活用しています。



- 主食 ご飯
- 主菜 豚肉のごまだれ焼き
- ※※ もやしとにらの酢じょうゆ和え
- ₩薬 かんぴょうのみそ汁
- その他 牛乳

学校給食は、食を学ぶ上での「生きた教材」です。地場産物の活用は、地域の自然、文化等への理解を深めたり、生産者や食への感謝の気持ちを育んだりする上で重要な役割を果たしています。

### 地場産物を活用した 人気メニュー紹介

#### もやしとにらの酢じょうゆあえ

#### 材料(4人分)



給 食 では、県 産 のにらともやしを 使 用しています。

13.41 ( 17 4 23 )	
にら 3cmカット	60g(2/3束)
もやし	l 70g
えのきたけ 1/4カット	50g(I/4束)
「酢	7g(大さじ1/2)
★しょうゆ	9g(大さじ1/2)
ごま油	2g (小さじ1/2)

#### つくりかた

- ①野菜を洗い、切る。
- ②野菜をゆでる。えのきたけは、しっかり火を 通し、にらともやしはさっとゆでる。ゆでたら 水で冷やして、しぼる。
- ③★を混ぜ合わせ、②の野菜とあえる。味見をして味の調整をする。

### 豚肉とごぼうのかりん揚げ



給食では、県産の 豚肉と石橋ごぼう を使用しています。 つくりかた

13 41 ( 17 4 74 )	
豚もも肉	250g
生姜	6g(1/3かけ)
しょうゆ	6g(小さじI)
片栗粉	60g
ごぼう	20g( /2本)
┌砂糖	15g(大さじ )
★しょうゆ	I8g(大さじ3)
└水	6g(小さじⅠ強)
白いりごま	3g(小さじl)

- ①豚肉を I×I×4cm の拍子切りに切る。切った豚肉にすりおろした生姜としょうゆで下味をつける。 ごぼうは 3mm 幅のななめに切る。
- ②★を鍋に入れ、ひと煮立ちさせる。煮立ったらごまを入れ火を止める。タレは冷ましておく。 (熱いと、揚げた豚肉の衣がはがれやすくなる。)
- ③①の豚肉に片栗粉をまぶす。この時、ポリ袋に豚肉と片栗粉を入れ空気を入れて振るとまぶしやすい。
- ④フライパンに 2cm ぐらいの多めの油を入れてパラパラと豚肉を入れる。ごぼうも揚げる。 (一気にやるのではなく少しずつ入れていく。)⑤豚肉とごぼうに②のタレをからめて完成。

# 各学校での〈食

今回ご紹介するのは、取組の一部になります。

各学校では、このほかにも様々な取組を行っ

「下野市食育・地産地消推進計画」では、外部講 師による「食に関する指導」を奨励しています。

各学校では、栄養教諭・学校栄養職員による食育 の授業のほか、外部講師による「食に関する指導」の 機会を設け、食育の充実を図っています。

### 果立傳物館による出前愛慧

石臼を挽く体験や、昔の生 活道具に関する学習を通して、 現在と昔の食生活との違いに ついて学びました。

ています。





# 





地域の方にご協 力いただき、苗植 え、わらしき、花合わ せ、摘心、皮むき等 を体験しました。

文化財課職員の指 導の下、「手かんな」 での皮むき体験をし ました。

収穫した分を給食 に使用した学校もあ りました。



# 

【講師】栃木県保健福祉部生活衛生課職員





食品表示、食中毒の予防について学んだほ か、普段の手洗いと、正しい方法での手洗い後の細菌の数を測定し、違いを確認しました。

### 勿见宫—·汉安

【講師】カルビー株式会社フードコミュニケーション事務局職員







1日のおやつの目安 量や食べる時間、パッケ ージ表示の見方等について、ゲーム形式で楽しく学びました。



# 

【講師】農林水産省関東農政局職員





総合的な学習のゼミ活動の一環として、食 料自給率の低下の現状を踏まえた持続可能な生産体制、つくる側とつかう側が取り組む食品ロス対策、持続可能な消費と生産に関する 国の取組について学びました。

#### 給食とコラポした「食育、人農農





トマトの歴史や旬の時期、最 新の栽培方法について、クイズ形 式で考えたり、実際に資材を手 に取ったりしながら学びました。

学習後は、市内の「トマトパー ク」で生産されたトマトを使用し た地元のシェフ考案の給食メニ ューをおいしくいただきました。









, 地元シェフ考案 「鶏肉のフレッシュ トマトソースかけ」

【講師】株式会社「誠和。」職員





